

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第297号 2026年1月

迎春



「上山城」からのたより 正月 第198便
上山城

わが町再見『藤井松平』⑦ 松平信行 (3)
鎌上 宏

◆連載◆ 猫と歩けば ⑤③
うめつ とぎり

描いていく、生きていく ②⑧
朝日 辿

短歌随筆 33 思ひ出の港
新寺 登

わが述懐 思えば遠く来たもんだ (17)
中野 尚

日本ビクター製・蓄音器の思い出
桜井 和敏

◆連載◆ 四国遍路こぼれ話 (16)
大貫 和春

ぶらぶらスケッチ日記 第11回
竹内 敏夫

「狸森物語」一戦後八十年の山村一を綴って
佐藤 藤三郎

祝賀会のご案内：21頁

読者プレゼント＝明日のそばを語る会：23頁

「上山城」からのたより 正月・第198号

【常設展示室から】抽選で景品が当たる、クイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。

悠久の時を重ね、ここに新たな年を迎えました。皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。今年の干支は「午」です。

昨年、上山城では多くの皆様に足をお運びいただきました。特に、昨年十一月から本年一月十二日まで開催いたしました「上山競馬場開催九十周年記念展」は好評を博しました。往年の競馬ファンの方から「懐かしい」とのお声を多数頂戴し、午年の始まりに良きご縁を感じています。

また、恒例の企画展に加え、若年層の視点を取り入れたコスプレ撮影会やファッションショーなどの催しも実施しました。十一月二日・三日の両日に賑々しく開催された「お城まつり」では、「大声大会」や「スコップ三味線」「ザ・歌舞伎」「SUBASAコンサート」など、多彩な企画を展開いたしました。勝手におねいさん様、ミッチーチェーン様のご協力により、会場は大変な盛り上がり

を見せ、市民及び観光客の皆様にごくまに楽しんでいただくことができました。これらの催しは、上山市の観光振興に大きく寄与したものと確信しております。

また、おかげさまで、当館の年間入場者数は四万五千人前後に達し、コロナ禍以前の水準に回復しつつあります。その中でも、インバウンド(外国人観光客)の方々が顕著に増加しています。皆様のご要望に応えるため、昨年、英語および中国語による展示品説明システムを導入いたしました。母国語での詳細な解説は、外国人来場者様から大変ご好評をいただいています。さらに、「上山城」を背景に記念撮影をする際、城名を示す看板がなく、ごこの城か判然としないため、看板を設置してほしい」というご要望も多数寄せられていました。これを受け、上山城右側の柱に、『上山城』と刻印したケヤキの板看板を制作し、お城まつり前に設置い

たしました。これもまた、来場者の方々に大変お喜びいただいております。

本年も職員・役員一同、「相手の喜びを自らの喜びとする」という信条のもと、ご来場者の皆様の細やかなご要望にも真摯に応えてまいり所存です。上山観光のシンボルとして、来城される皆様にとって思い出深いひとときを提供できるよう、一層の努力を重ねてまいります。

結びに、皆様には引き続きご高配とご指導ご協力のほどをお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

相手の喜びを自分の喜びとする

(公財)上山城郷土資料館理事長

土田 秀頼



たしました。これもまた、来場者の方々に大変お喜びいただいております。

内科・循環器内科・腎臓内科・皮膚科・人工透析内科

医療法人 長 清 会

長岡医院

院長 櫻井清陽 理事長 長岡由女
医師 長岡美里 医師 長岡迪生

内科 診療時間/ 9:00~13:00 14:30~17:30
皮膚科 診療時間/ 14:30~17:30 (火曜日・水曜日・金曜日)

休診日/ 日曜日・祝日・木曜日

上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口 寿 功

診療時間/ 平日 9:00~12:30 14:30~18:00
土曜 9:00~12:30

休診日/ 日曜・祝日・水曜・土曜午後

上山市四ツ谷 1-6-35 TEL.677-0050

原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	●

木曜・土曜 12時まで / 休診日/ 日曜・祝日

上山市十日町 9-2

023-672-0008

永田歯科医院
Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00

休診日 日曜・祝日・木曜

上山市元城内 3-62

672-0215

1 月



蔵王シャトルバスを運行します!

新路線「蔵王ライザワールド」開設で行き先が2倍に!
事前予約制で並ばずに確実に座席確保。

運行期間/ 2026年1月10日(土)~3月8日(日)

片道運賃(税込)

かみのやま温泉⇄蔵王温泉 2,000円

かみのやま温泉⇄蔵王ライザワールド 1,000円

詳細・予約はQRコードより



(一社)上山市観光物産協会

023(672)0839

http://kaminoyama-spa.com

♥愛車に Make-upを……

鈑金・塗装・車検

〜承ります〜

東北運輸局長認証工場

創業 46年 **E 有限会社 遠藤ボデー**

〒999-3122 上山市仙石1121-1

TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭

(株)マルシン葬祭社

寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス

上山市久保守4005の10

023-672-4242

F 023-672-4470

E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

わが町再見『藤井松平』⑦松平信行(3)藩校「天舖館」「明新館」開講

鎌上 宏
(水岸山観音寺住職)

以前に最初の藩校天舖館が間借りした「広福寺」を紹介しましたが再掲します。西山の麓に南北に走る古往還があった、お城の門(西の土門)はその道に通じそこに広福寺がありました。松平信行侯は、大坂加番の折りに北野天満宮の神木をいただきあらためて御神体を彫らせ天満社に納め奉りました。それが古刹(下三九七)の真言宗広福寺です。天満天神は菅原道真公を祀る学問社なので新しく開校する藩校には最適とされたのでしよう。

古記に天神丁広福寺に「信行侯、文化六(一八〇九)7月28日に学問所を広福寺精舎に仮設し天舖館と名づく。置賜郡高島織田氏の儒臣、武田龍を聘して賓師となす」とあります。退任時に終身金を下賜し、続いて教授を米沢藩士服部世経

にあたらせました。その藩士は上杉治憲(鷹山)侯の師となる細井平洲の門人です。松平信行侯は、家臣増戸武兵衛の師の武田孫兵衛(龍)を招き、教科書は古注の経書、伊藤仁斎、荻生徂徠の説に基づいて授業したとあります。

信行侯は、増戸武兵衛がついて学んでいた儒者を招いたこと、儒者らは米沢藩の藩政改革を行った上杉鷹山侯の師細井平洲の門人だったこと、教授退任の折は年金を授与し、教養は古学、折衷学派だったことです。何故山形からの儒者ではなかったのかを考えるのもおもしろいことです。当時、藩の家臣は独自に他藩の儒者について学んでいたことが分かり、それも幕閣老中松平定信や、藩家老の金子萬嶽が学んだ御用学の朱子学でなく、傍系の古学、折衷学だったことです。

天保十二(一八四〇)年になると独自校舎明新館を仲丁に開設しました。校名、教授内容の朱子学への変更は林大学頭の命によるということです。

最初の藩校天舖館を開校した信行侯は教師を敬い、厳しい藩財政のなかで年金を授与、藩境まで師を見送ったのです。信行侯の学問尊重の立場が明瞭です。

ここに校訓、理念を考察いたしますが、「文政以前の学事に関する文書類は伝わらず、今詳細を知ることが出来ない」(「市史」)とあって天舖館のことが詳かではないので、後の嘉永元(一八四八)年「明新館内規定」を見ることにします。それは次のように定められています。

「一、学問所(藩校)は各別のお取りはからいがあり、多く経費が節約される中

で聖廟を合祀し新規御経営となった教育は全く礼儀の始まりをなす国の基となるゆえで、幕府からの御朱印状の守護を藩庁ではなく藩校で保管奉戴することになった。一同は尊崇拱手の礼を取り、又、謙遜の礼儀正しく、学ぶ同士の益友を選び身の為になることを第一にし、学びが飾りにならぬようにするべきである。一、読み書きばかりではなく、古聖賢の故事を実用に引き当てる工夫、修行第一にすること。一、世間の毀誉にかかわらず初志を忘れないこと。一、天下の身分、長幼の序、民を治める者は徳を弁えつつ

各々の長所を伸ばし是非得失相互を思慮考究すべきこと」(以下略)。ここには藩主・藩庁保管の封地宛行状は藩校が管理することになったこと、藩校の学生は民を治める徳を修得するということが重々しく規定されています。

徳を修し、学を究め、この学び舎から若殿傳育・後の家老金子清邦(与三郎)、また九州大学創立初代学長(医学部長、王切開創始者)などの偉人を輩出したのです。以前にも紹介しましたが、当時の学問儒学の学びにとどまらずに広く考究すること、深く考えることに通達

し、その学問から忠川湖開拓など殖産興業策・御政道への提言、また近代医学の確立など多方面への学びを身につける人々が輩出されたのです。当然、直下の藩内課題の改善、施策の歪みも正されていったのは言うまでもありません。

(参考文献)『市史・上』、『市史資料』、『御伝記』①『町史・郷土史』②、『見聞随筆』⑧⑨、『上山小学校創立90周年記念』、『木村昭一著』、『異彩ある人物・上山人物記』(上山市教育委員会 他)。

シニアの方大歓迎!

カラオケ開放 11:00~16:00
持ち込みOK! (酒以外)
歌い放題 お一人様 ¥1,000
◇3人以上でお申し込みください。
◇定休日:月曜日

“熊ラーメン”
おぐにのマタギ
上市市新湯2-19
サガ・ソシアルビル2F
TEL. 090-2950-2791

美咲花咲
パーキング
かみのやま温泉駅東口
とても便利ですよ!!
タイムズモビリティ
のカーシェアリング
あります。
673-1895[鈴木]

こんな困りごと
ありませんか?



宝 石・メガネ・時計

タニエ

上市市石崎2丁目1番33号
☎023-672-0364
携帯:080-3330-6973



猫と歩けば……

53

うめフ  ちぎり

○月△日

数ヶ月前に、姪からメールで送られてきた動画、A I猫にゃんこちん。これを見て癒されているのでオバチャンも見てみて、とのことだった。

A Iと付いただけで、頭の一部分から拒絶感が噴出する昭和脳の私だけど、猫の動画となれば「まあいいか」と甘々になる。

にゃんこちんを見て、すぐに虜になった。

茶トラの幼い猫がバイトをしながら一人暮らしをしている。三輪車に乗る。携帯電話を持っている。よく食べる。よく笑う。お給金をもらってもすぐに使うので、いつもサイフは空っぽ。気ままに生きているにゃんこちんが可愛くて、全ての動画を一气に見てしまった。

その中でいちばんの傑作が、にゃんこちんが氷水を食べ、下痢腹になり病院に行くやつ。ストレッチャーで運ばれエコーとMRIの検査を受け、お医者さんから「お腹の冷え」と診断される。ページュの腹巻をつけさせられるのだけど気にいらない。ピンクに白い水玉模様の腹



巻が欲しくなり、そのためにバイトをして手に入れるという話。
にゃんこちんは病院に運ばれているというのに、全く不安気なく笑っている。下痢の辛い症状にも捉われず、ピンクの腹巻に心の焦点を移行させバイトに出かける、という精神と肉体の離れわざを行なう。これにより不快からの脱却に成功してるんだ。自分の身に起きたアクシデントを、自由自在な心の動きで楽しさに変えてしまえるって何て素敵なんだろう。

にゃんこちんは『色即是空 空即是色』を実践する禅の修行僧。A I猫じゃなくて『般若心経猫』だと思うよ。

○月△日

やさしさって何なんだろう。やさしさという言葉にこだわって出してから、もう既に四十年以上は経っている。

こだわりのきつかけは父との会話だ。細かいところは覚えていない。

私は父の何らかの行動に対し「お父ちゃんは、やさしくない」といったのだ。父は「お前にとってのやさしさとは、どういうことなんだ？ 私のやさしくないところを、具体的に説明してくれ」といつてきた。私は、あ？あ、自分の娘にまで学校の先生やるんだもんなあ？。もろに国語教師やってます、だよな？って。ちよつとふてくされて、父の質問には「しばらく考えてみる」とだけ応えた。

減多に話すことのない父の言葉は、いつまでも引つか

かっついて『やさしさとは何か？』に呪いがかけられたまま燻っている。
皮膚感覚のやさしさや、物を取扱う時のやさしさは分かりやすいんだけどね。人と人、心と心の交流の中で、やさしくあることは、どうしたらいいんだろう。
目の前にいる困っている人を、手助けすることがやさしさだとは思わない。人を傷つけないように気遣うことがやさしさ？ そんな軽いものじゃないよ。
父のやさしさの定義を聞いておけばよかった…考えても、考えても、深過ぎて実体が見えてこないのだ。もしかししたら、私たちが意識していないところで、こっそりと作用しているのがやさしさの原初なのかもしれない。
父からの宿題は難しい。私はいつまで『やさしさ』を

昭和の本箱 まちライブラリー

けやきの家

今年度の営業は終了致しました。
ご利用、ありがとうございました。
感謝申し上げます。
2026年度の営業開始は4月11日となります。

□ オープニングイベント……

4月11日、12日 ユニットあるほなつき
をお招きしてのワークショップです。
ご期待ください。

Wi-Fi P3台

……
上山市八日町(青山医院の北)
詳細は……けやきの家まで

080-1394-5853

第59回茂吉忌合同歌会

開催: 2026/2/22(日)

投稿締切: 2026/1/16必着
※詳細はお問合せください

特別展 斎藤茂吉とふるさと
-みちのく界隈-

会期: 2026/3/31まで

※詳細はお問合せください

休館: 水曜日

斎藤茂吉記念館 北町字弁天 672-7227

会期延長! 企画展「初開催
から90周年記念 かみのやま
競馬関係資料展」

■概要 上山競馬場にまつわる懐かしい品を展示

■会期 令和8年1月12日(月)まで
[12月29~31日・元旦以外の毎週木曜休館]

■料金 上山城入館料

★会場・問合: 上山城 TEL673-3660

お問合せ

上山城

上山市元城内 023-673-3660

二十八回だって。なんだかんだ間もなく三十回だね。ああ、でも三〇〇号でこの冊子は終わるのか。(あれ、これってもう公表されたんでしたっけ？されてるよね……?)ということは、このエッセイは二十九回が最後ですね。僕も来年二十九歳。二年後は三十路。なんか、いいですね。

青森に住む友人A子が、「周りが結婚ラッシュで大変」とこぼしていたのを、少し前まで「そうかい」とぼんやり聞いていた。自分の周りには結婚した人もしそうな人もいなかったからだ。それが最近、同じ年の従姉妹が結婚して。弟が結婚することになって。両家顔合わせとかに出席しちゃって。

めでたいなあとは思う。よかったね、と思える。でもイマイチその幸せさがピンとこない。A子はきつと「わかるわー」と言ってくれるに違いない。職場の女の子たちに「そういう人にまだ出会ってないからですよ」と言われる。うわ、ドラマとかで出てくるセリフだ、と思った。じゃあ、あなたは出会ったわけですか？でも未婚なんだね？なんて意地悪は言わないけどさ。そりゃね、この先判らないよ、そう思える人ができるかもしれない。結婚という制度も、選択肢に入れることもあるかもしれないよね。その時に一緒に生きたいと思えた相手が結婚できる性別ならね。でも、それでもそうでな

くても、未来の自分も「どちらでもいい」と思うんじゃないかな……と思う。もちろん、法に守ってもらえなきゃ困ることもあるんだけどね。

この前、通勤コードを切って、帰り支度をしながら、アプリを頑張る恋多き同僚が「もう年末です、今年は好きな人が四人できたな」と大きめの独り言を吐いた。

「……それって、突っ込んだ方がいいやつですか？」

「え、びつくりした誰も反応してくれないかと思った」

振りが雑すぎやしないか、と笑った。(あ、同僚たち皆歳近いし仲も良いですよ。)普通に答えるのもなんだかちょっと癪な気がしたので、

「んー、ああ、この前、指輪を捨てたりとかはしましたよ」と答えた。そして予想通りの同僚たちの反応。


「朝日さん彼氏いたんですか?!」

あー……そうか、「世の中の」はそうか、そうだった。もういいか。「いや、私、恋愛対象男性じゃな

いんで。指輪渡して受け取ってもらった女の子に振られたんで、そろそろ手放そうかなと思って。」きつと「大丈夫な」人たちだから、もういいや。

月刊かみのやまでの連載もあと二回だから。万が一、僕のエッセイをずっと読んでくれていた変わり者の読者がいて、万が一僕の性別はなんだろうとモヤモヤしている素敵な感性をお持ちの方が今もこれを読んでくれているならば、そろそろ答え合わせをしてもいいかもしれない。

誕生日ケーキはいつの間にかショートケーキになったのでロウソクは刺さなくなったし、代わりに焼肉をご馳走になれば主役の私は胃もたれを起こしてその場で吐いたし、一緒に食べた祖母の方が元氣だった。三十の時はホールケーキを買ってきっちり三〇本ロウソク灯してみようかな。いっそ燃やしてみようかケーキ。きつと僕の友人たちは喜んで一緒に燃えるケーキを囲んでくれる。そんなくだらなさでずっと笑える人たちがいる。それが僕の今の一番の幸せ。



水岸山慈眼院
観音寺
最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番
山形県上市十日町9—29
電話 023-672-1421

**吉井内科胃腸科
クリニック**



診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00
但し、土曜日の診療は4:00迄

院長 **吉井 英一**
023-673-7515
上市市金生東一丁目10-15

**成人写真前撮り
キャンペーン!**

1月撮影2,000円
2月撮影1,000円

合計金額より割引します



SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00(日祭日17:00)
mail: info@takahashi-photo.net
上市市十日町8-5 定休日:火曜日

思ひ出の港

新寺 登
(上山中部短歌会会員)

務めていた銀行の三瀬支店に四年間勤務したことがある。テリトリは鶴岡市南部から旧温海町に渡り、毎日七号線を走っていた。

この夏、無性に漁港の絵を描きたくなり暮坪漁港へ行くことにした。温海の町の三キロほど手前で、立岩という奇岩がある所である。小さな舟しか入れない鄙びた漁港で何とも言えない寂しさが感じられ、前々から絵にしたいと思っていた所である。(七号線からはほんの一部しか見えない。)旧道から港に着くと運河のように細い港で石垣の上に海風に晒されて色褪せた家が並んでいる。想



像した通りの漁港だった。七月の光に海の青色が冴え渡る。

そこへ老人の操る一艘の小舟が帰って来た。

誰もいない港でひとり黙々と網や浮子の片づけを始めた。漁師は常に死と隣り合わせで漁も捕れるかどうかも分らない。どんな気持ちで生活をしているのだろうか。陽に焼けた老人の顔に圧倒された。この時、『老人と海』のサンチャゴ老人と目の前の老人が重なった。今にも老人の友達の「少年」が駆け寄ってくるような気がして岸壁にしばし佇んだ。

帰港せる舟の漁師の孤高なり

へミングウェイの『老人』のごとく (登)

カリブ海の海の色はきつともっと青いのだろう。

港の山際の羽越線を電車が走って行った。貨物列車が走るのを見るのはしばらくぶりである。絵にするため一通り写真に収めると港を後にして堅吾沢漁港に立ち寄った。ここには「喜波らし亭」と「雷亭」という旅館があっ

たが今は見る影もなく寂しい港になっていた。ここからだが今は見る影もなく寂しい港になっていた。ここから三瀬に向かい琴平荘の前を通り由良港へ向かう。

由良港は一番多く釣りに来た所である。短い竿でシノコダイ(黒鯛の一年もの)を釣るのである。型は十センチ位でも引きはけっこう強く竿がUの字になる。私の指定席だった造船所の脇の岸壁に佇むと、当たりが来た時のビビッとした手の感触が懐かしく思い出された。

船の絵も描きたいので網の整理をしていた船主と思われる人にことわり写真を撮った。すると「内陸の人か」と問われた。言葉ですぐ分るのである。「おれの家内も内陸だ」と言う。急に親近感が湧きしばらく話しをした。なんでも奥さんは高畠の人でスキューバダイビングに由

良へ毎年来ていたらしく、その時知り合ったということである。

当時お世話になった「仁三郎」の主人は元気が尋ねたところ今も達者との事である。主人は鱒の定置網の網元で旅館も営んでおり、当時開発中の波力発電事業にも協力していた。また三瀬の海岸近くにスナックもやっていた。店の名はなんと「うろこ」であった。スナックと言えば由良にも一件あったが名前は忘れてしまった。

鱒漁の仁豊丸の網元は

今も元氣と漁師が答ふ

(登)

これまで絵は山と花しか書いたことがなかったが初めて港を描き上山文化祭に出品することが出来た。

ナチュラルベシックが好き



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上市市南町2-7

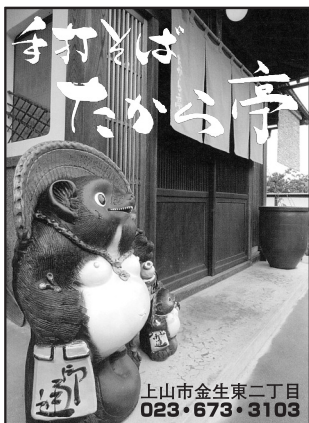
泡エステで10歳、
若返りませんか!

ムース♡デコ



♡ニキビ・美白・リフトアップ
吹き出物 ♡毛穴の黒ずみ
♡シミ・小じわ♡手の荒れ
♡アトピーなど 特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約:673-3002



上市市金生東二丁目
023・673・3103

わが述懐・思えば遠く来たもんだ (17)

中野 尚
(東京在住 上山市出身)

ある日、店の片隅にマスターがゲーム機ガチャポンを起きました。百円玉を入れるとガチャポンが出て来て中を開けると「ハズレ」とか「三百円」とか「五千円」とかの券が入っていて、当たるとその金額をマスターが即払う。凄い人気で、東芝勤務のごりさん飲むのを忘れてゲーム機に没頭。「三千円」券が出て来た時は小踊り、でも二万円使っているんだよな。垂れ込みがあつて後日警察の人が二人来てマスターに聴取。マスター「外に用足しに行っている間、知らないうち誰かゲーム機置いて行ったんだ」と適当弁明、警察の人も苦笑い、ゲーム機を撤去して行きました。何でもありの緩い昭和の時代。

週末の満席の忙しい時間帯、マスター客の注文の肉を切っている時、包丁で人差し指を傷つけ出血。血止まらずマスター「中ちゃん、ちょっと病院へ行つて来る、あと頼む、二階からうちの呼んで手伝つてもらえ」と。

自分、二階にいる奥さんと呼んで接客、皿洗いを頼む。自分、お客さんの酒の準備をしたり、注文の肉を切ったり。「ネギは湿ったのでなく乾燥したのをみじん切りにしてくれる」と注文の細か過ぎるモツちゃん。いつものレバー刺(肝臓)を注文。今は食禁法が厳しく、豚肉の生食が許されない時代。でもあの昭和の時代の人体頑丈なのかな、食当たりなのかな聞いた事も無い。自分、注文のレバー刺、肝臓の塊をまな板に乗せ上の繊維組織の細かい部分を包丁で切り、皿にちよつと多いかな、まっいいか、事態が事態だし。別皿に乾燥したネギをみじん切りにしたものの大量にサービス。注文の細か過ぎるモツちゃん「盛りがいいねえ」と初めて見える笑顔。周りのお客さんも「俺に白モツ切ってくれる」とか注文のオンパレード。マスターも病院から戻つて来て「針縫つて来た」と。僕の切盛りした量の多い肉皿を見てマスターは苦笑。店は平常に。

後日、お客さんによつて「今日はお兄ちゃんに肉切つてもらおうかな」と。マスターまたまた苦笑。仕事は面白く楽しかったです。マスター「中ちゃん、東京へ行つて専門課程終わって卒業したら店に戻つて来て、俺の仕事手伝つてくれ」と。その時その言葉はありがたく嬉しかったです。

マスターも常連のお客さんも個性的な人が多かったです。仕事後はマスターはいつも通り店の酒をご馳走してくれ、飲むといつも昔の話。

青森にいた高校一年の頃、友達と川原で工事現場の発破(鉱山や土木工事で爆薬を仕掛けて爆破する事、またこれに用いる火薬の類)を投げて遊んでいると、手元

が狂つて発破が友達に命中、即死粉微塵になり河北新報に載つたそうです。田舎に居られず家族を捨て夜逃げ。あてもなく熊谷に降り、兎に角働かないと思つていたとき、駅前の電柱に「急募住込。豚肉解体卸業」の張紙をみつけ、そこへ行き、隠さず全て事情を話して働く事になったとの事。才能があつたのかマスターみるみる腕をあげたそうです。その豚肉解体卸業の社長、熊谷で大地主、その一人娘に惚れられて入婿になり店を出したとのこと。マスターは酒が入ると「田舎の景色を見にいききたい、帰りたい」といつも言っていました。細身にこにこ顔の優男のマスター、壮絶な過去のある事を知りました。

いも煮
2~3人前
(6コ入り)
¥6,600 (税込)

地元
「上山」の
お土産に!!

丸松物産株式会社
山形工場 上山市新北浦3番地
TEL.023-673-5511
http://www.marumatsu-mb.co.jp

手づくり洋食を
ご家族連れでどうぞ

レストラン
駅東口より徒歩5分

イビサ 023-673-3034
営業時間 11:30~21:00 定休: 木曜日
(日)・(祝) 11:30~21:00 (祝) 除く

ご商談・ご宴会に
二階宴会場をご利用下さい

割り子そば

石臼挽きそば
みつひろ
上山市新湯6-34
TEL.672-3815

日本ビクター製・蓄音器の思い出

櫻井和敏
(上山市出身・山形在住)

終戦後に父が購入したのだろうか、我が家には蓄音器なるものがありました。それは全体がチヨコレイト色をした木製の箱型でした。上蓋が開閉できる仕組みになっており、その裏蓋には白い犬が蓄音器のラッパの前で不思議そうに聴いているロゴマークです。その画像はだいぶ後になって日本ビクター（現在はJVCケンウッドに吸収合併され消滅の商標だったと分かりました。その犬の名「ニッパ」はイギリスの風景画家マーク・ヘンリー・バロウドの飼いだでした。明治二十年にマークが病死し、弟の画家フランシス・バロウドがニッパを引き取り育てました。フランシスの家には蓄音器があり、マークの声が録音されていたそうです。ニッパをこよなく愛していた亡き飼主の声

が蓄音器から流れるといつもラッパの前に座って不思議そうにのぞき込む姿をフランシスが描いたと言われます。その絵画が評判とな

り、様々な経緯がありました。この絵画をモデルにした商標は明治三十五年から日本で商標登録され歴史あるシンボルマークとなったのです。JVCは「Japan Victor Company」の略で、現在もJVCケンウッドの製品や「ビクターエンタテインメント」などで使用されています。ご存知のようにアメリカのトーマス・エジソンが発明し、日本に伝来したのは明治十年頃だそうで、今から百四十八年前の事です。その頃は画期的な発明品として世間を席巻した

ことでしょう。その蓄音器の構造ですが、電気を一切使用しないので電動モーターはありません。音盤を回転させる動力は昔の柱時計のようにゼンマイ仕掛けを応用したものでした。箱の右横には「Z」字型のハンドルが付いており、手で回してゼンマイを圧縮し、解れるエネルギーによりターン

テーブルを回転させる動力としたのです。その上にSP版という直径30cm位の音盤をセットし、針の付いたアームという部分を、手で音盤の右端に静かに下すのです。音盤には肉眼では見えないが、渦巻き状の溝が刻まれています。溝には上下左右に凹凸が施されており、針がなぞる振動を増幅させ、ラッパを通して空気の振動（音波）にして歌声や音楽を聴くという仕掛けになる訳です。なお、回転速度を一定に保つガバナー機構も取り付けられています。音盤はシェラックという天然樹脂が主原料で分速78回転で、長時間音盤を回すと、ゼンマイが伸び切るので回転速度も落ちてしまいます。そうすると音が低くなってしまっているので歌声は気が抜けたような声になるので笑いを誘うことがしばしばありました。そうなる前にハンド

ルを回してゼンマイを巻いておく必要があります。SP版は堅く重いが入ったたり割れ

易いのが欠点でした。ひびが入るとその部分に針が「ブチッ、ブチッ」という雑音が入ったり、針が別の溝に移ってしまうと音が飛んでしまうこともよくあったものでした。

家にはたくさんのSP版がありクラシック、ジャズ、流行歌（歌謡曲）、浪花節などを父が好んでよく聴いておりました。特に多かったのは流行歌で東海林太郎や上原敏、佐藤千夜子の歌などは私も聞いてよく覚えております。東海林太郎の『母いずこ』の歌にはアメリカ民謡『谷間のともしび』が挿入されていたのが強く印象に残っています。上原敏の『裏町人生』。本県鶴

岡市出身の阿部武雄が作曲された唄として有名です。それに本県天童市出身の女性歌手第一号・佐藤千夜子の『東京行進曲』は終生忘れられない歌として心に残っている名歌と言えるでしょう。



◆おかげさまで売れてます！



ゆるゆるシリーズ

「猫の手マドレーヌ」
「わんわんどーナッツ」
「しっぽフィナンシェ」



十五屋本店

上山城登り口西六七一〇一六九

協賛していただける
スポンサー様を募集
しております。

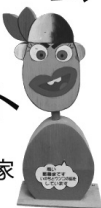
文化的に潤いのある故郷
づくりに、少しでも寄与出来
たらという願いをこめて、
2001年5月号より発行し
続けております。

ご協賛頂けたら幸甚です。

ご連絡は

電話 090-3363-5978
FAX. 023-673-2023迄

ソフトクリーム
コーヒ
ヨーグルト



悪い酪農家

山川牧場

(有)蔵王マウンテンファーム
山形県上山市永野2191-23
TEL・FAX 023-679-2150

連載 四国遍路こぼれ話 第十六回

大貫 和春
(上山市観光ボランティア)



「四国遍路こぼれ話」の最終回は十二月号に続いてお遍路に関する書籍を紹介します。一冊目は三好和義著の「空海と歩く四国遍路」です。この書籍は上巻が徳島・高知編、下巻が愛媛・香川編

と二巻で構成されています。三好和義氏は写真家で、写真集「RAKUZEN」が木村伊兵衛賞を最年少(当時)で受賞と略歴にありました。第一番霊山寺から第八十八番大窪寺まで写真をメインに構成されていますが、「八十八カ所に息づく信仰のかたちを撮りたい」と思い、各札所のご本尊の撮影をお願いした。秘仏などで叶わない時はお前立ちや脇侍を撮影させていただいた」とあとが

きにありました。仏像の写真は迫力があり、土門拳氏の仏像写真を彷彿させました。本堂や山門の写真にしても正面から写すだけでなく、山門を通して本堂を撮影するなど芸術性を感じさせました。また、沈下橋を渡るお遍路や足摺岬近くの白い砂浜を歩くお遍路の写真などは見開きで掲載され、息を飲む臨場感がありました。

一方、札所の解説文も読み応えがありました。第三十三番雪隠寺は鎌倉仏像の宝庫とか、第三十八番岩本寺は弘法大師ゆかりの七不思議などのエピソードが多数紹介され、お遍路をした時の状況が蘇りました。そのような縁起やエピソードを短期間でよく調査されたと思ったのですが、巻末を見ると文章執筆者には別人の名前が納得しました。



二冊目は兼まどか著「奇跡の四国遍路」です。俳人の兼氏は一九九九年にスペインのサンティアゴ巡礼道を、二〇〇一年から〇二年にかけて韓国、プサンからソウルまで、二〇一七年に四国遍路を踏破しました。著書の帯に書かれた紹介文には「ぼろきれのようになりながら歩き継ぎ、倒れ込むようにして到着した宿では懸命に日記を付け、俳句を詠んだ」とありました。私は一日の歩行距離を二十km前後に設定したので、宿には日暮れ前に到着してしま

たが、兼氏は三十km前後も歩いており、宿に到着するのはいつも日が落ちてからでした。その結果第二十四番最御崎寺の手前で歩けなくなり接骨院に運ばれました。翌日には痛みが引いたので遍路

路だけが使用できる」を頂戴した時は、名前が「円(まどか)」なのでこれも何かの縁ですと偶然の重なりに感激していました。

第五十四番延命寺手前のコンビニのベンチで高齢のおちゃんと出会います。おっちゃんは生まれてすぐに母親が亡くなり、親戚に預けられますが「もらいっ子」といじめられたことや火葬場で働いて、二

千三百体を送ったことなど身の上を語り始めました。おっちゃんと分かれた時は延命寺の門限まで一時間しかなく、八kmを懸命に走り続けたことで間に合い、小さな奇跡が起きたとありました。「道は円を描きながら経糸のようにまっ

また、兼氏は「遍路での一期一会の出会いそれぞれは無二の遍路を豊かに彩る。しかし先を急ぐあまり貴重な出会いを逃している人が多い」と書いているように「縁」も大事にしました。

第五十三番円明寺で、お守りにしてくださいと錦の納め札(百回以上巡拝したお遍

路だけに使用できる」を頂戴した時は、名前が「円(まどか)」なのでこれも何かの縁ですと偶然の重なりに感激していました。

最後に情報学者西垣通氏との八十八の白熱した問答が掲載されていますが、話題が宗教から現代の若者像まで多岐に渡っています。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。プラビシモライト。

デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴貸出”中!

耳あな型片耳価格 138,000円
ボリュームコントロール付 148,000円(片耳・非課税)
248,000円(両耳・非課税)

計測室 補聴器 F・parc 佐藤
〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ
各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

ぶらぶらスケッチ日記 (11)

「趣味の『散歩』が楽しい」

竹内敏夫
(上山市在住)

私の一番の趣味は「絵」で、次は演劇・登山などです。

若い頃、或る先輩から趣味を持つにあたって「多くの人とかわる趣味」と、「自分独りでできる趣味」の双方をやったほうがいい、と教えていただきました。

私は凡そ四十年間アマチュア劇団で演劇活動をしてきましたが、夜の練習に仕事の都合で遅れてくる人があると代役で練習しなければならぬ場合が度々ありました。そんなとき痛感しました。演劇は人が揃わないと出来ない面倒な趣味だ。と。比べて、絵を描くなら自分ひとりで出来ます。

でも、演劇は年齢も職業も違う仲間が、侃々諤々と議論しあうところに魅

力があつたのです。今は活動停止してときどき酒を酌み交わす関係になっていますが、かつての芝居作り仲間は私の貴重な宝物です。

《四十の手習い》とは、「趣味はいくつになつてから始めても遅くない」という諺ですが、実は、私《七十の手習い》で始めた趣味があります。それは、散歩することです。早朝にしている散歩で、^{すぶる}楽しいのです。

始めたキッカケは上山市が、歩いて健康づくりしよう、と平成二年から始めた事業です。参加者は貸与された活動量計を、コンビニや公共施設の読取専用端末『あるこう！ かざすくん』にかざす、すると歩数が記録される事業なのです。毎日の歩いた歩数が即座に

見られるので張り合いが出て、飽きっぽい私でも五年間ズーッと継続できました。

この事業には「歩き方を学ぶ学習」があります。はじめのうちは（この歳で歩き方を教わるの？）と思いましたが。ところが、健康医学を研究されておられる先生から、「歩く速さ」「歩幅」「踏み込む足」「蹴るつま先」「腕の振り方」「姿勢」等々をわかりやすく解説していただくうちに《目からうろこ》でした。健康づくりはどう歩けば効果的か、を理解できたのです。

先日、担当の保健師さんから上山市の「かみのやま健康ポイント」事業が厚生労働省とスポーツ庁主催の「健康寿命をのばそうアワード」で、優秀賞を

受賞したとお聞きしました。※アワード賞、商品のこと（写真）



運動が苦手な私ですが、歩くことを続けていて「いい風景が見えてくるようになったこと」も良かったことです。以前、この

「月刊かみのやま」の表紙絵を担当しており市内の風景を紹介してゆこうと、取り組みました。そのためにはこの事業に参加したことが大変良かったのです。

事業が始まつてからの五年間に「月刊かみのやま」の表紙絵を描いた枚数を改めて調べてみたら四十七作品でした。そのうち早朝散歩で（描きたい！と気付いて）手掛けた風景が、二十四点もありました。

その一部を挙げますと、「クオルト雪の西山」「仙石の春」「鞍掛踏切」「蟹仙洞」「御井戸丁のサルスベリ」「新東宮橋」「春雨庵」「長生橋」「高等養護学校の畔」「中村利蔵の栗川稲荷」「恋・花咲山・幸の鐘」「須川から見た泉川」「軽井沢横断歩道橋」など、歩いたからこ

そ視えた景色でした。

おわりに最近に観た、お気に入りの写真二枚を紹介します。



大切な家族の一員
だったペットの
供養をいたします



納骨供養料
15,000円 (納骨料・供養料)

葬儀のご相談も
承ります

※毎年9月の動物愛護
週間中の土・日に
供養会を行います

ほう らい いん
蓬 菜 院
上山市小穴42番地
TEL 023-673-2909

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社

山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL. (023) 673-1114 FAX. (023) 673-1115

有限会社

大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大衡村駒場字彦右衛門橋 3-162
TEL. (022) 345-5378 FAX. (022) 345-5378

「狸森物語」——戦後八十年の山村——を綴って

佐藤 藤三郎
(著述業 農業)

令和七年にはマスコミなどの「昭和百年」だとか「戦後八十年」といったことの企画が多々あった。

YBCのテレビでもそれがあったし、「文藝春秋」でもそれがあった。その百年の百人に私が中学生のときの師である無着成恭先生が入っていた。それでその先生のことを書けという依頼が私にあった。一人見開き二頁というのだから短いものだった。

それとは直接関係ないが農業ジャーナリストの大野和興さんから戦後八十年の農業と農村の変貌とその未来について一冊の本を書けという勧めを受けた。

私はそんな大それたことを書けない、と言ったのだったが、それに対し氏は学者やジャーナリストなどでない人、つまり農村の現場にいる百姓がその本音と経験の本心を書けばと押しつけるように言ってくれた。それに対して私は「もう村を歩いたり、資料を集めたりする能力はもうろん体力が無くなっている、だが自分の身の回りのこと、さらに言えば住んでいる狸森のこと、そこで見て来たことや体験したこと、そんなことならば書けるであろうと言って書くことにした。

戦後八十年、それを農山村の現場で体験し、そのことを文字にすることのできる人は亡くなり少なくなっている。だ

素直に言ってそれは私自身が誰かに問いたいし、それを書いてある本があるなら私は何冊も買いたいと言って大野さんを困らせたし、私も悩んだ。

「狸森」という「むら」にはいつから人が住んでいたか私には分からない。

黒森山の麓からは縄文土器が出土するからその時代にもここに人が住んでいたことは確かだ。といっても私の先祖はまさかその時代の人ではないであろうが、とにかく私が生きてきた「むら」が消滅しつつある。その理由はグローバリズムによりこの国の繁栄と豊かさの裏面であることはよく分かる。自然の資源で生きているのではなくて原子力での生活？で潤った暮らしをしているのだから。なのに人は村を去っていく。若者たちの「労働力」がトヨタやニッサンへと吸収されている。そしてそれが狸森といった山間の村からだけではなくて平場の農村からもだ。よって山形県の人口がすでに百万人を割っている。さらに言えば百姓をやっているのは七十歳代の人が一番多い。ともすると狸森

から、是非と大野さんは私にその目を向け勧めてくれたのだった。そう言われてみれば、九州の山下惣一さんや高島の星寛治さんはすぐれた百姓であり文筆の達人であったが逝去されている。お二方共、私とは同輩だ。

私は九十歳になった。終戦のときには十歳だから「戦後」の体験は確実ではないがうっすらと頭に残っている。だから「戦後」のことは資料を見たり、調べたりしてではなくて自分で体験したことならば、といって書いてみることにした自分の目で見聞いたことをじぶんの言葉で綴った。だから中学生が書いた作文のようなものでしかないがなんとか一冊の本になるものにまとめあげた。まだ本が出来てないので仮題だがそれを「狸森物語」とした。大野さんと出版社（社会評論社）と相談して、もったいい書名があればそのようになるが、まずはそんな内容の本だ。

それにしても「狸森」の過去を書くことは容易でなかったが、未来を書くのには頭を痛めた。狸森（山元地区）は消滅しつつある。その状況を書くことは難しくはなかったが、大野さんと出版社は、そうした状況の中で狸森の未来を明るく書けというのには悩まされた。

「そんなことが分かるものか」と突っぱねようと思ったが、「それが無ければ本は売れない」というわけだ（笑）。

だけでなくてこの国の百姓がいなくなるのではないかと心が痛む。

そんなこと先が長くない私にとってはどうでもよいのだが、そのことを都市に住む若い人たちには本気で考えてもらわねば、と書き進めるなかで思った。

過日、長井市の百姓菅野さんたちは「令和の百姓一揆」というのを行なった。その時「一揆とはなにか」と私は氏に問うた。その返答に私は領いた。「農業がこのまま進めば百姓をする人がいなくなるぞ、と国民の皆に知らしめ、訴え考えさせることだ」と言った。そして「互いにその在りようを学び合い、手を繋いで活動し、食を守るために田圃を荒らさないようにすることだ」というのが氏の答弁だった。そしてこのたび私が出版する本がその活動にいささかでも役立ててもらえれば、とは思ったが上手くは纏めることができなかった。でもこの課題は国民みんなが取り組んで欲しいことだない」というわけだ（笑）。ない」というわけだ（笑）。と訴えたつもりだ。

「月刊かみのやま」は、来る3月末に発行を予定しております通巻300号（4月号）にて終刊号を迎えます。そこで、私たち有志実行委員会は、これまでの阿部檀発行人並びに岩井哲編集人両氏の二十五周年にも及ぶ労を讃え、ささやかな宴の開催を企画しているところです。四月十二日（日）月岡ホテルに執

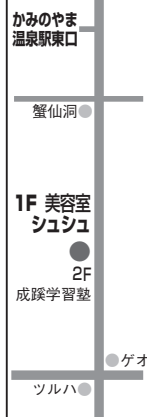
筆者、スポンサー各位、読者が一堂に会し、いつときわが上山の文化について語り合う機会にできれば望外の喜びでもあります。詳細は後日お示し致しますが、多くのご参加を望んでおります。

「月刊かみのやま」300号記念打ち上げ祝賀会
実行委員会 委員長・鎌上宏

上山市観光課 〇三(六七)一〇一一
 上山市観光協会 〇三(六七)〇八三九
 上山市観光協会のやま温泉旅館 〇三(六七)一四五六
 上山市立図書館 〇三(六七)〇八五〇

上山城郷土資料館 〇三(六七)三六六〇
 JRかみのやま温泉駅 〇五〇(一〇)一六〇〇
 蔵王坊平観光協議会 〇三(六七)二二一一
 蔵王温泉観光協議会 〇三(六七)二二一一

山交ハイヤー 〇三(六七)一六六一
 観光タクシー 〇三(六七)二三三三
 上山タクシー 〇三(六七)二二一一
 上山レンタカー 〇三(六七)四一九〇



美容室 **Chouchou**
<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>
 上山市矢来4-8-1 ☎673-6030



東京駅5分、家族経営の温かな料理店
ジジとババ
 上山中学校昭和40年度卒業
 上山小学校昭和37年度卒業
 さて、誰でしょう？
 変な頭が特徴です。
 中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトビル2階
 ☎03-3274-1797 上京の折、ぜひご来店ください。



栗川稲荷神社
 上山市松山一〇五二鎮座
 社務所 ☎〇三(六七)二二五〇
 御祭神 稲倉魂命
 元旦祭 一月一日
 例大祭 四月二十三日
 月例祭 二十三日
 由緒沿革
 栗川稲荷神社は備中国庭瀬の城主松平信通公が城守護神として奉祀され、厚く信仰されてきたお社であります。
 元禄十年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を捧げたのであります。
 大政奉還の後は現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に県内はもちろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。

月刊『かみのやま』第297号 発行日 2026年1月1日
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎090-3363-5978 FAX.023-673-2023
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故 木村蔵六 編集協力/鎌上宏

吉例 お年玉プレゼント 迎春
 日頃のご愛顧に感謝の気持ちを込めて下記の4店舗より1,000円の食事券を抽選で20名様にプレゼントさせていただきます。

■応募締切 令和8年1月13日(火)まで
 ■応募方法 ハガキに住所・氏名・年齢・電話をご記入の上
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 (有)スタジオ・ワン
 「月刊かみのやま」お年玉プレゼント係 まで

明日のそばを語る会

みそのそばや 上山市石崎 1-4-19
そば処 一休 上山市鶴脛町 2-12-5
そば処 さかえや 上山市十日町 10-28
湯蕎麦 味津肥廬 上山市新湯 6-34 (新湯足湯向かい)



山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>



こんにやく番所

懐石料理 お土産 カフェ

ギフトも承っております



公式HP

栃下宿 丹野こんにやく 4

〒999-3224

山形県上山市皆沢諏訪前608-1

TEL 023-674-2351

FAX 023-674-2515

<http://www.tannokonyaku.co.jp>

なつかしい和（なごみ）の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭

さいかてい

時代屋

じだいや

☎ (023) 672-2451

<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘

MEIGETUSOU

〒999-3242 上山市葉山5-50

TEL.023-672-0330(代表)

フリーダイヤル0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上山市新湯1-33

TEL.023-672-1212代

かみのやま温泉 葉山



電話 023-672-0295

FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>